



2月例会「黄金山ふれあい樹木林整備」 28日(日)

in 南区南区楠那町北側山林 参加者：45名(会員37名) 5班 秋武明



①



②



③

この度の会場は、平成19年から仕事で4年間で過ごした地域であること、また平成28年頃、里山整備士6期生の下村さんと二人で里山整備士として初めて活動した場所であり、私にとっては大変懐かしい思い出深い場所でありました。

何時もより早めに到着。受付、体温測定を5班メンバーが協力して行い、8時30分頃には資機材等の準備を終える事が出来ました。

開会式で山本理事長、マツダロジスティクス株式会社部長の升本様のご挨拶を頂いた後、スケジュールに沿って班編成及び作業内容を確認しラジオ体操。その後、各班に分かれて現場へ向かい、午前の作業に入りました。急峻で足元が悪いにも関わらずメンバーで協力した作業で、午前中は11時45分事故なく無事に作業終了。昼食は、麓に降りる人もなく、殆どの人が竹林の中で食べる姿は今の言葉で言うと、とても「映えていました。」しかしながら、休憩中、斜面上部にいた人が枯れた竹がひっかかっているのを見つけ、午後からの作業時には危ないだろうと判断し、処理作業をした際、予想以上に竹が下方まで滑落ちてしまい、最下方部で休憩した人が指を切る軽度な怪我をしました。午後からの作業に対しては作業メンバーへ周知して安全に作業をするようにしました。12時45分から午後の部の作業に入り、通常より早めに活動を終了し反省会を実施。



④



⑤



⑥

- ① 右上竹林が整備場所。うらかな春の山。みんなで登りました。
- ② 古い竹から伐ります。新入会員で初参加の富士井さん。
- ③ 竹林整備真最中。丁寧に！
- ④ 司会デビュー 藤原康祐さん。
- ⑤ 「真しく！」新入会員の紹介。
- ⑥ ラジオ体操。
- ⑦ 協力して安全に竹を伐ります。
- ⑧ 折った竹の枝は根元を揃えて棚積み。

各班からの振り返りを行いました。

昼休憩のトラブルについては関係者から説明報告があり、安全管理の重要性を再認識する事が強調されました。本日の例会初参加の坂田さんからは、『活動が温かい雰囲気の中で行われたので良かった』との感想を頂き、また、マツダロジスティクス株式会社総務のマネージャー中常様からは危険作業を伴う活動においては、「安全だろう、大丈夫だろう」、ではなく「危険予知」をしながら作業する事が重要。とのご意見を頂きました。“もりメイト倶楽部 Hiroshima”のメンバーも今後とも安全を求めて研鑽していきます。よろしくお祈りします。



⑦



⑧